



JFE

**JFEグループ
インベスターズ・ミーティング**

2016年7月29日

JFEホールディングス



目次

JFE

- JFEグループ2016年度第1四半期決算
及び 2016年度業績見通し

- 配当について

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

JFEグループ 2016年度 第1四半期決算

2016年度 第1四半期決算



(億円)

	2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減
売上高	8,571	7,406	▲1,165
営業利益	246	▲42	▲288
営業外損益	41	▲91	▲132
経常利益	287	▲133	▲420
特別損益	—	—	—
税前利益	287	▲133	▲420
税・非支配株主損益	▲113	16	129
親会社株主帰属 当期純利益	173	▲117	▲290

2016年度 第1四半期決算

セグメント別売上高/経常利益

(億円)

	2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減
鉄鋼事業	6,208	5,284	▲924
エンジニアリング事業	694	804	110
商社事業	4,651	3,930	▲721
調整額	▲2,984	▲2,612	372
売上高	8,571	7,406	▲1,165
鉄鋼事業	215	▲203	▲418
エンジニアリング事業	▲3	18	21
商社事業	54	45	▲9
調整額	21	6	▲15
経常利益	287	▲133	▲420

JFEグループ 2016年度 連結業績見通し



2016年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2015年度実績		2016年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
売上高	17,132	34,317	15,300		▲1,832	
営業利益	494	906	▲50		▲544	
営業外損益	▲10	▲263	▲150		▲140	
経常利益	483	642	▲200	650	▲683	8
特別損益	-	100	-		-	
税前利益	483	743	▲200		▲683	
税・非支配株主損益	▲184	▲406	20		204	
親会社株主帰属 当期純利益	299	336	▲180		▲479	
ROS	2.8%	1.9%	▲1.3%		▲4.1%	



2016年度業績見通し

セグメント別売上高/経常利益

JFE

対前年度

(億円)

	2015年度実績		2016年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
鉄鋼事業	12,460	24,451	11,000		▲1,460	
エンジニアリング事業	1,535	3,975	1,800		265	
商社事業	9,145	17,564	7,800		▲1,345	
調整額	▲6,010	▲11,674	▲5,300		710	
売上高	17,132	34,317	15,300		▲1,832	
鉄鋼事業	386	278	▲330	200	▲716	▲78
エンジニアリング事業	▲0	200	55	250	55	50
商社事業	98	157	75	200	▲23	43
調整額	▲0	6	0	0	0	▲6
経常利益	483	642	▲200	650	▲683	8

JFEスチール 2016年度 第1四半期決算

生産・出荷状況

JFE

■ 単独粗鋼・出荷(万t)

	2015年度 4-6月 A	2015年度 年間
粗鋼生産	654	2,736
出荷	598	2,539

2016年度 4-6月 B
694
626

対前年度 同四半期 B-A
40
28

■ 連結粗鋼(万t)

粗鋼生産	719	2,975
------	-----	-------

752

33

2016年1-3月⇒4-6月連結経常利益

▲73億円内訳



単位:億円

JFEスチール	2015年 4-6月	2015年 7-9月	2015年 10-12月	2016年 1-3月	2016年 4-6月	対直前 四半期
経常利益	215	171	22	▲ 130	▲ 203	▲ 73

- コスト削減 + 10
- 数量・構成 0
- 販価・原料 + 30
- 棚卸資産評価差等 ▲ 260
- その他 + 147

合計 ▲ 73

JFEスチール 2016年度 業績見通し

足下の事業環境

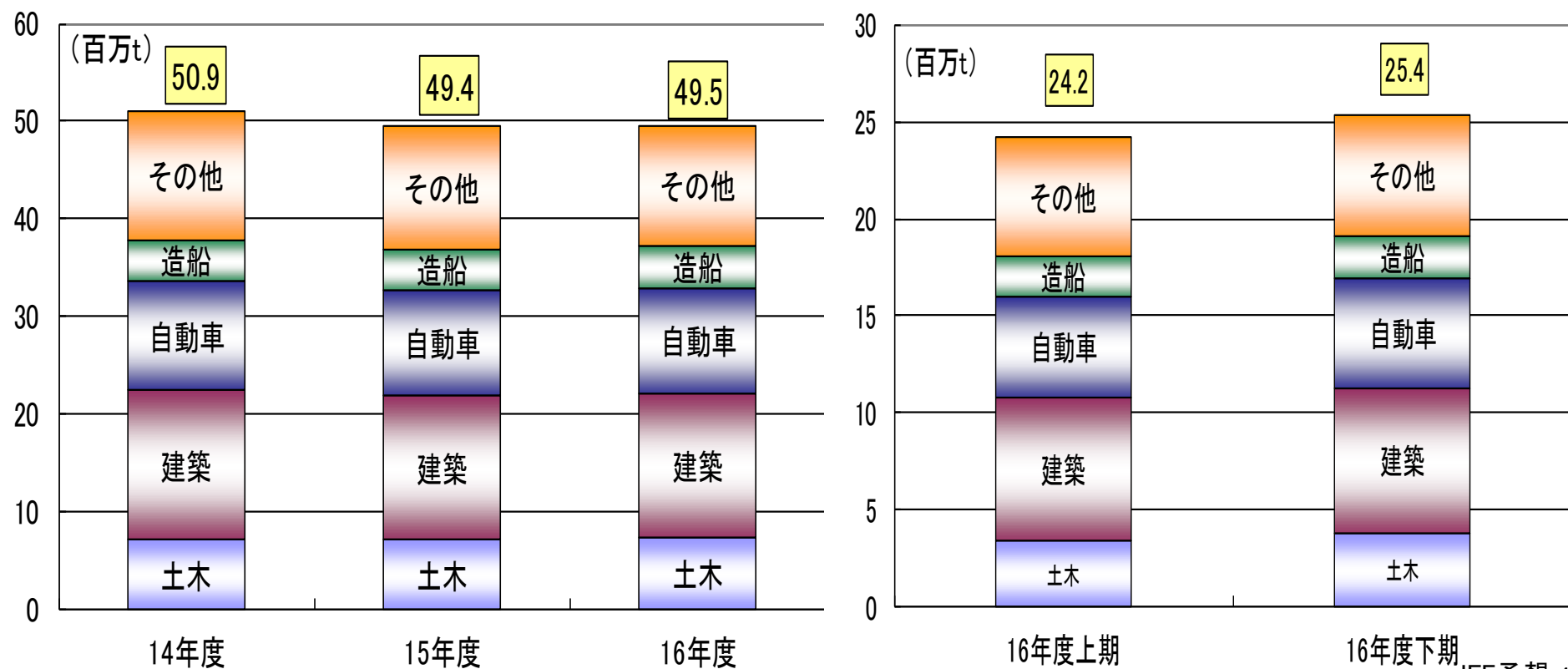
足下の事業環境認識(国内)

JFE

国内環境

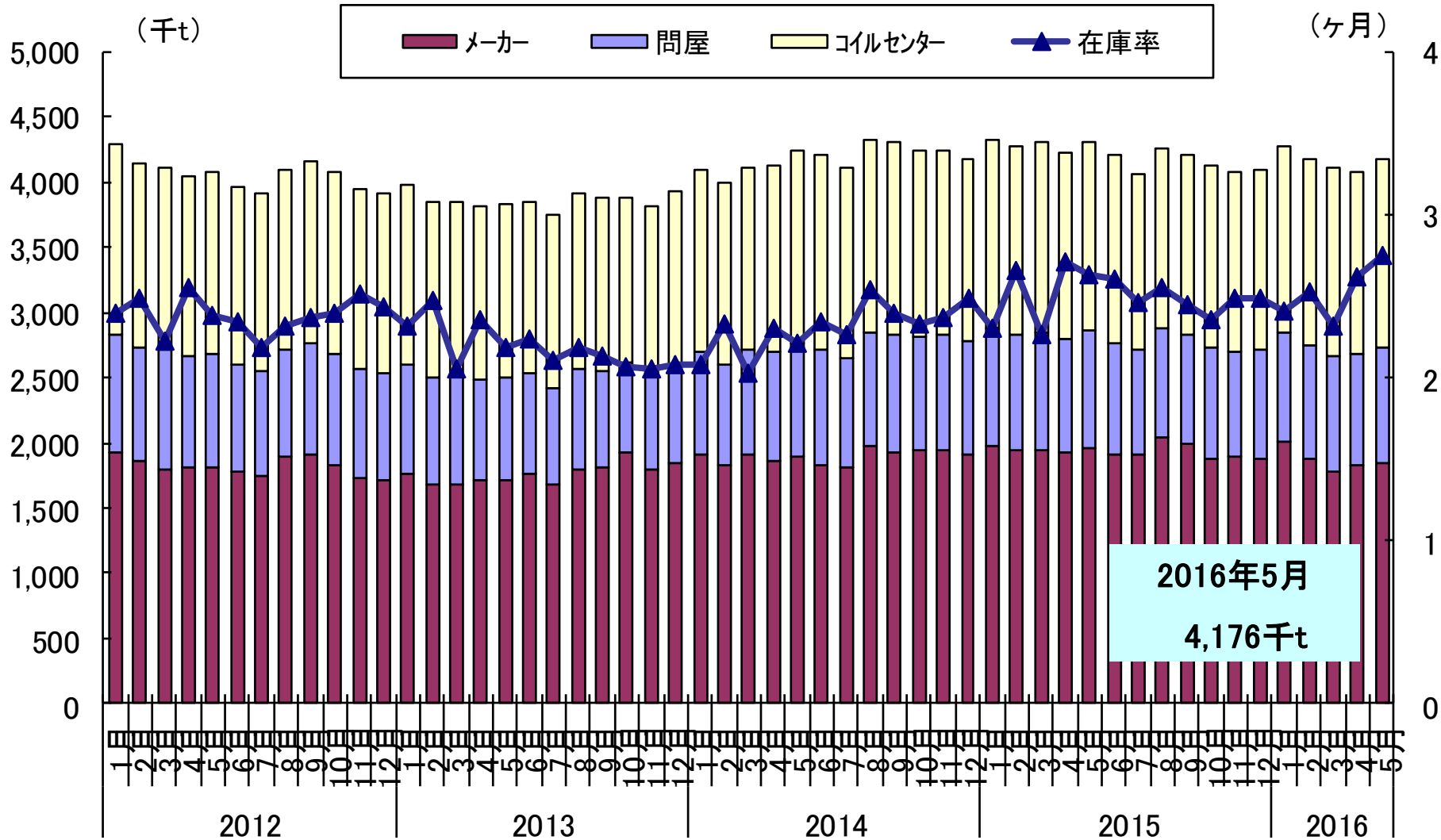
- 鉄鋼需要は一部分野では足踏み状態も、対前年度の鋼材消費量は微増の見通し。
- 16年上期から下期にかけては、自動車分野の回復に加えて、オリンピック・パラリンピックに向けた都市再開発を始めとした建設分野での需要増加等が期待される。

【普通鋼鋼材消費見通し】



国内販売環境

薄板3品在庫

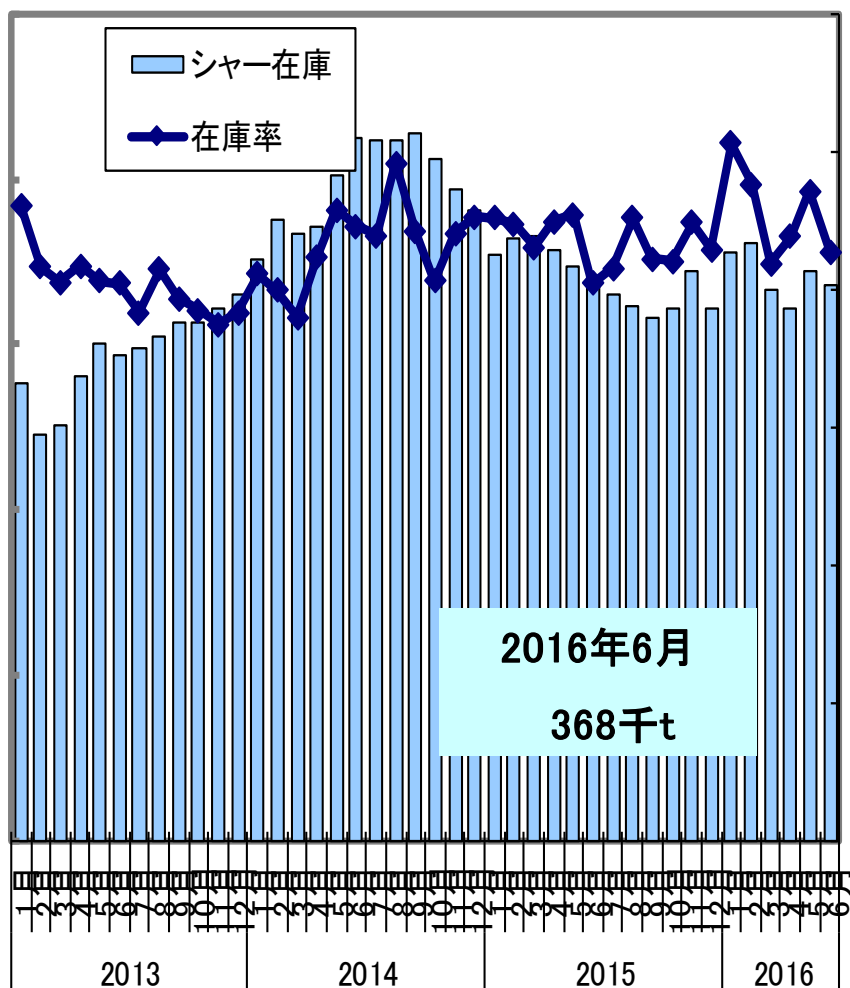




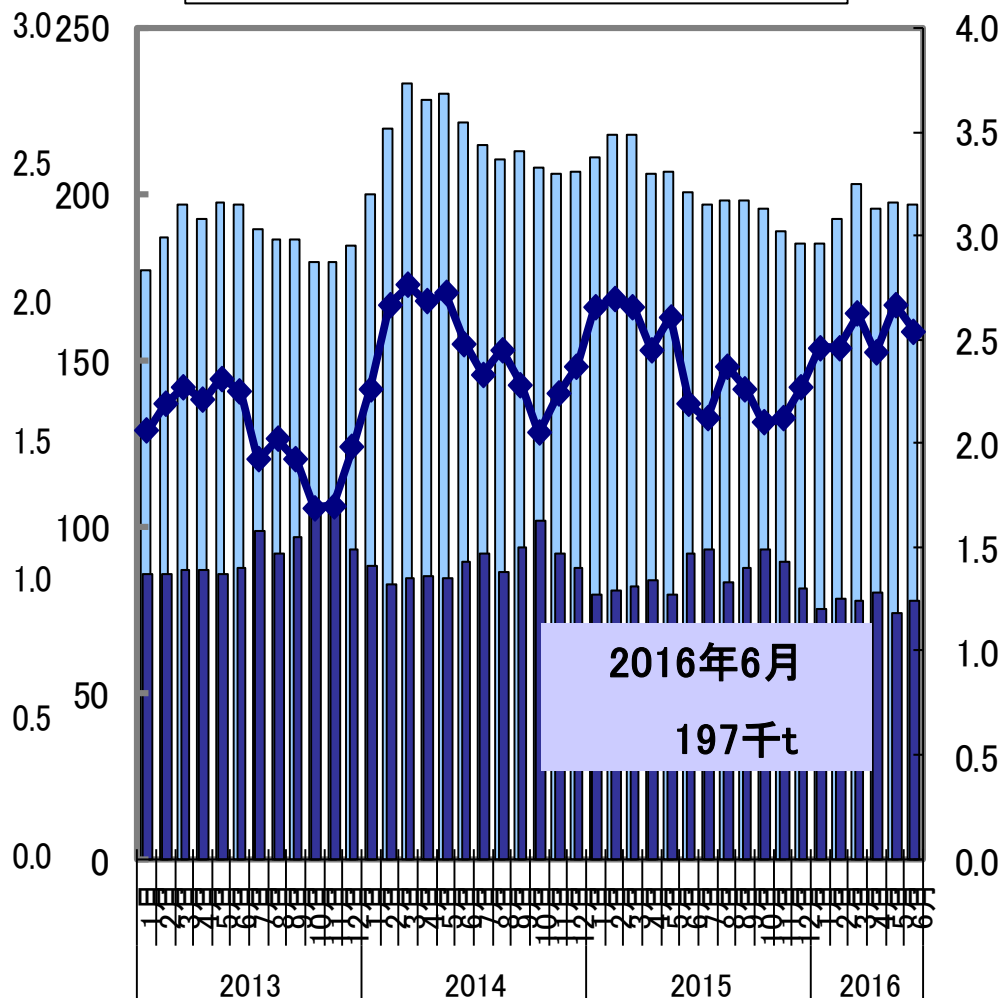
国内販売環境

厚板シャー・H形鋼在庫

(千t) (ヶ月)

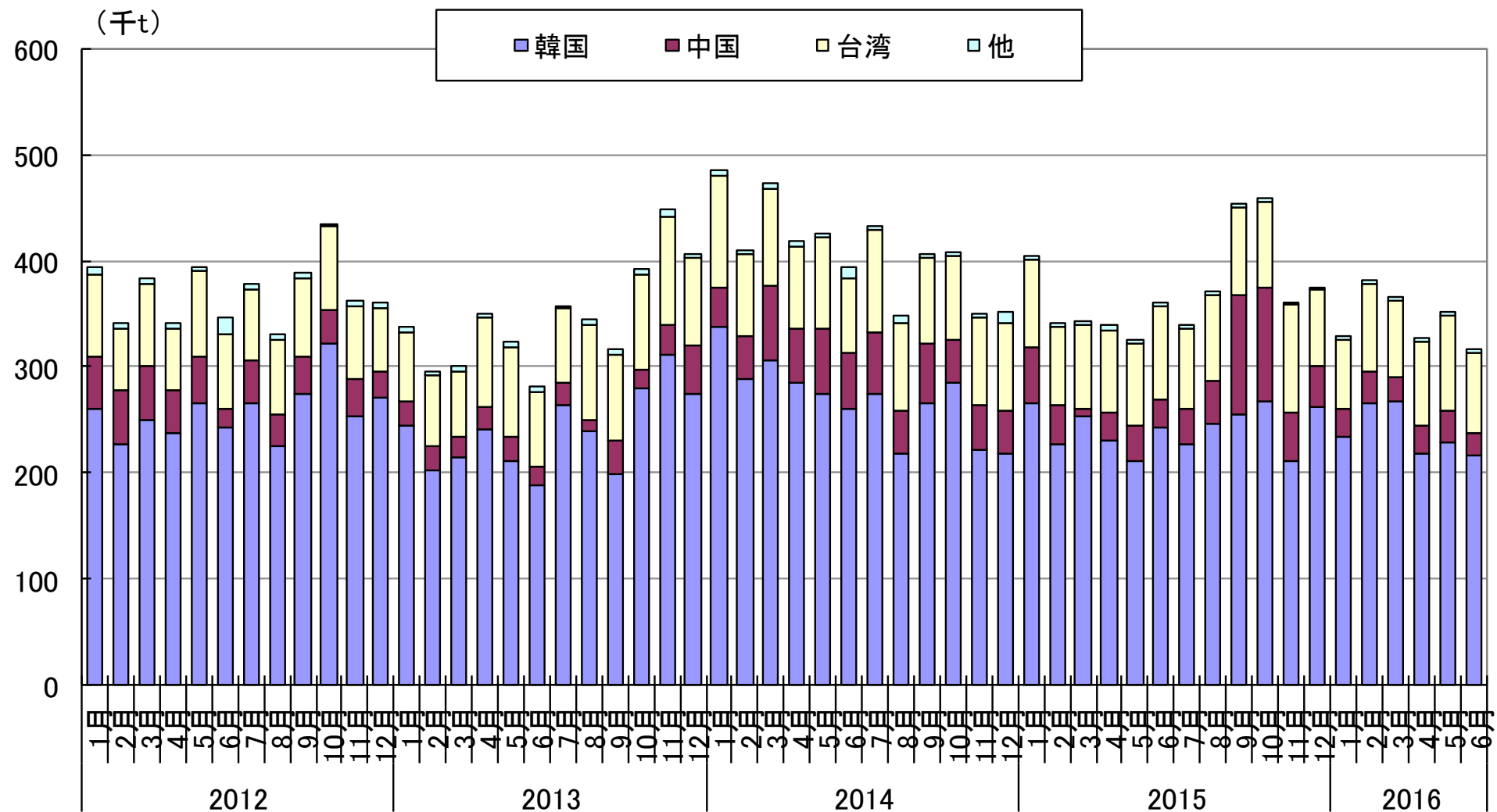


(千t) (ヶ月)



国内販売環境

輸入鋼材(普通鋼/国別)



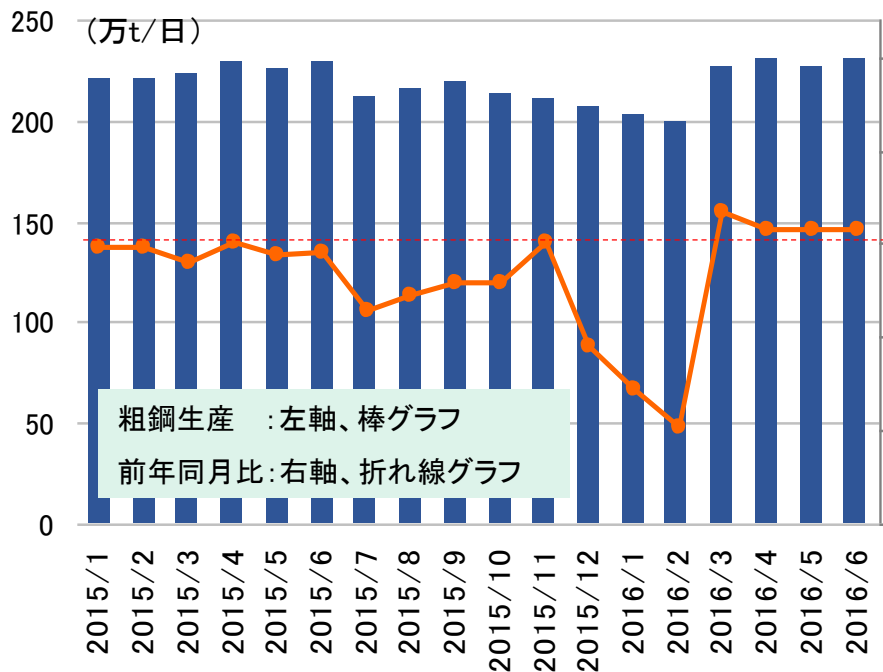
足下の事業環境認識(海外)

JFE

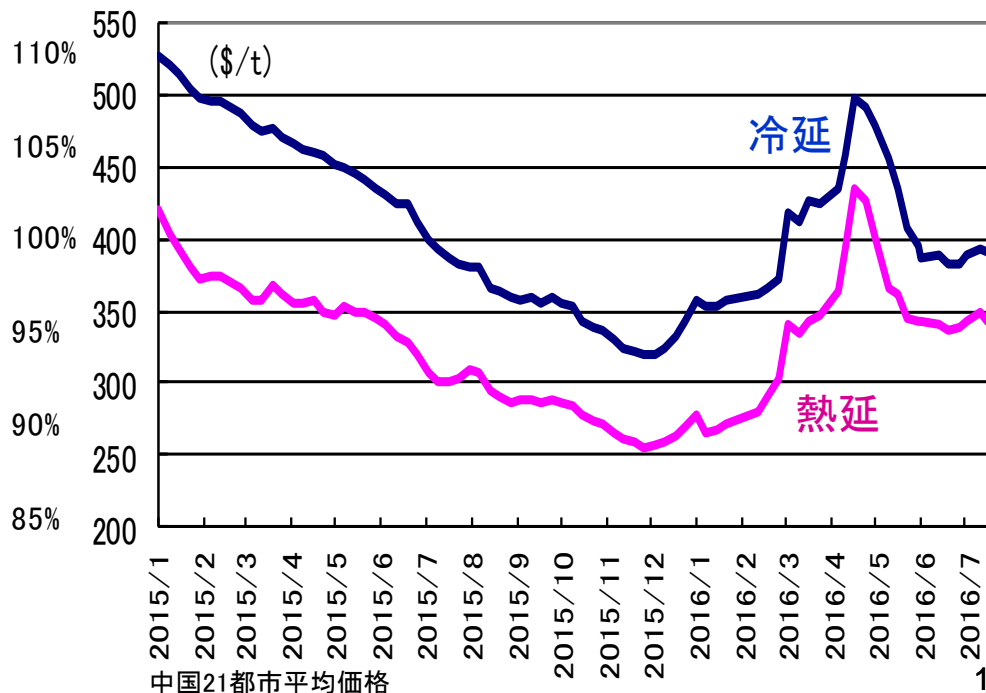
□海外環境

- 中国国内での鉄鋼業の構造調整に向けた動きがようやく見え始めたものの、3月以降は市況回復を受けて再増産傾向が見られ、引き続き生産動向への注視が必要。
- 海外鋼材市況は、中国薄板市況におけるように分野によっては一定の回復が見られるものの、エネルギー分野が引き続き停滞するなど、全面的に回復する状況とはなっており、依然として今後の動向は不透明な状況。

【中国日当たり粗鋼生産】



【中国薄板市況推移】

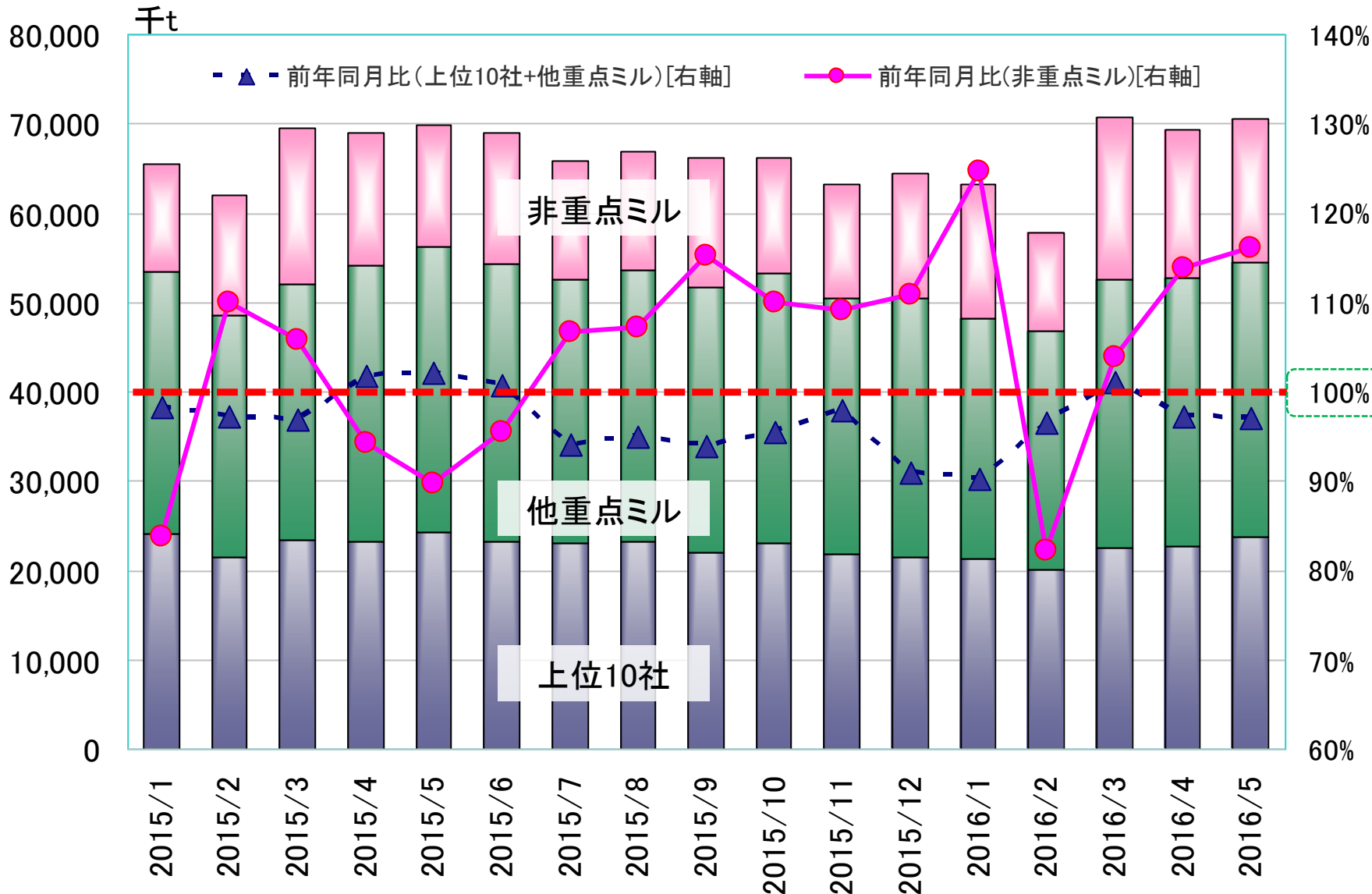


中国21都市平均価格

海外販売環境

中国ミル別粗鋼生産

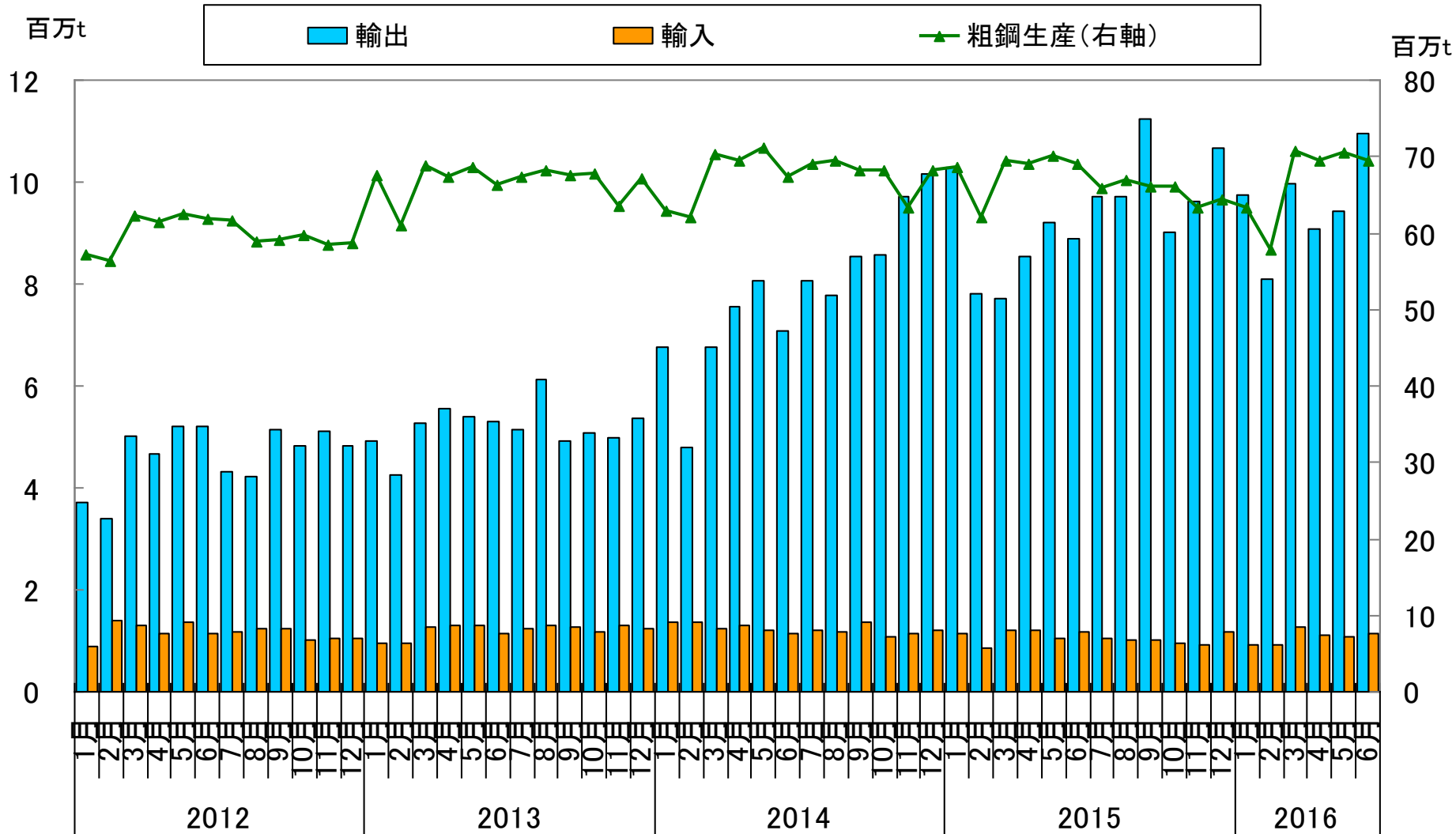
JFE



海外販売環境

中国粗鋼生産・輸出入

JFE



※1,2月粗鋼生産量はWSA推定

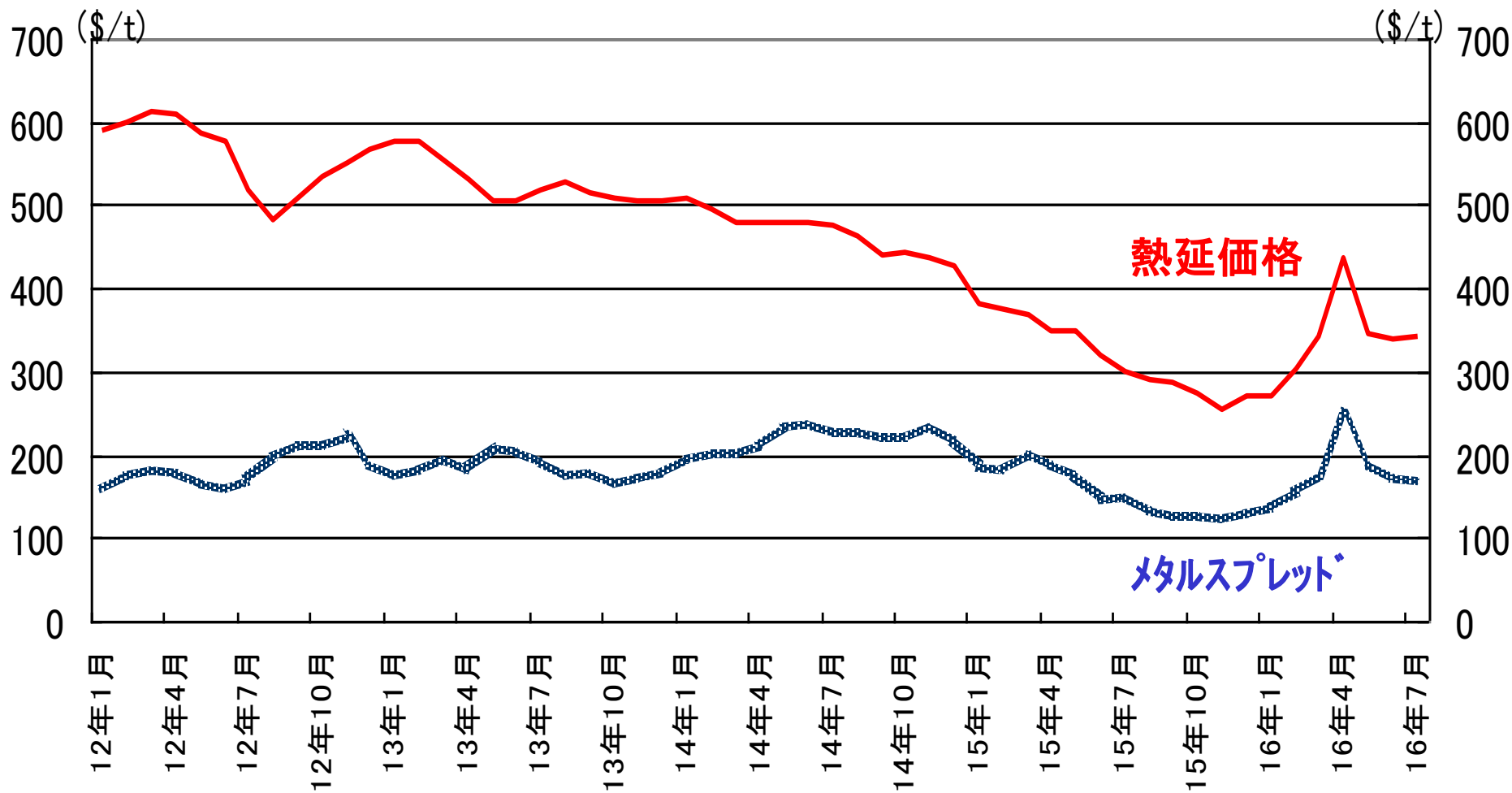


JFE

海外販売環境

(中国スポットベース) メタルスプレッド

JFEスチール

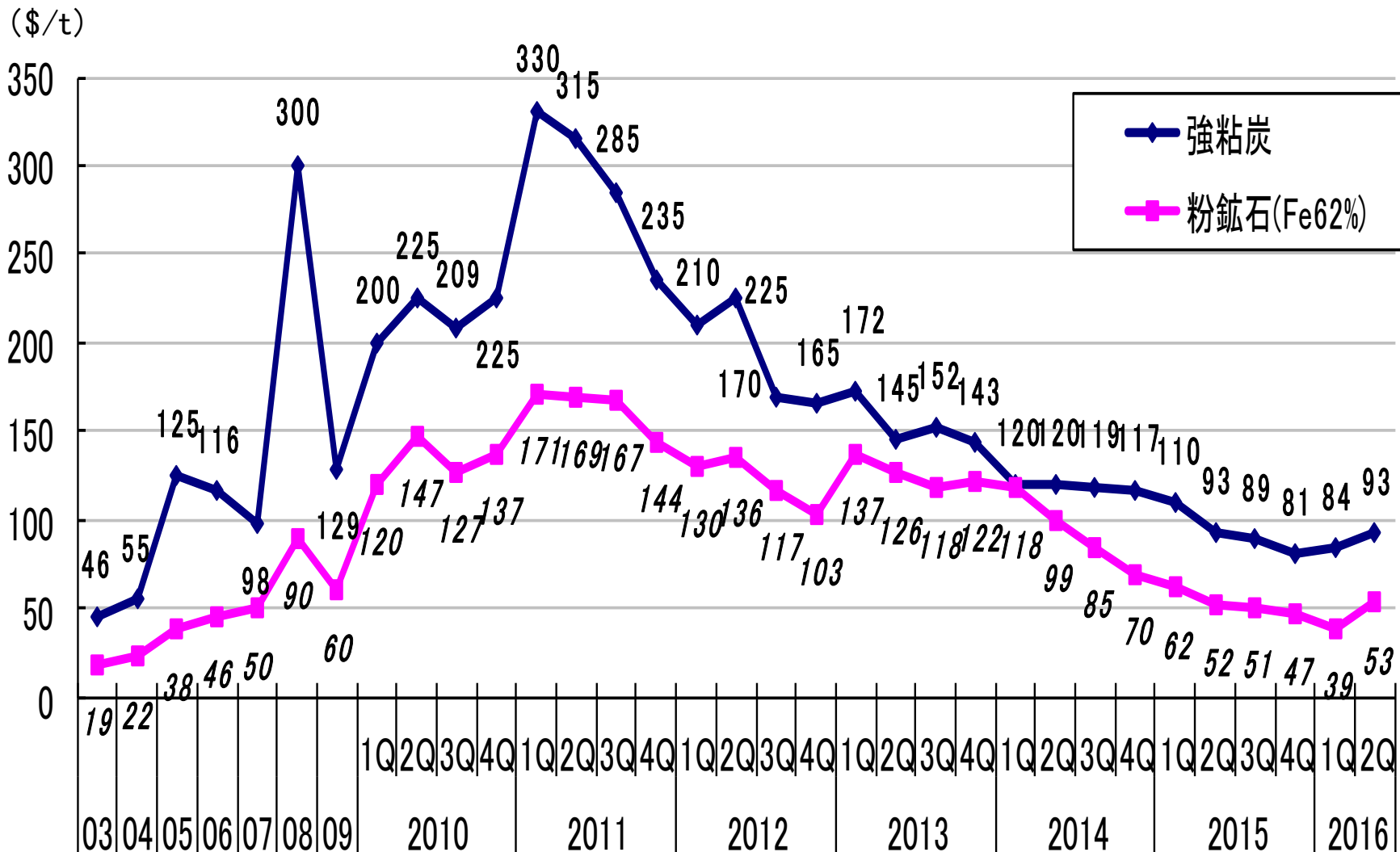


メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

※熱延価格: 中国21都市平均価格, 主原料コスト: 粉鉱石、超良質強粘炭市況ベース

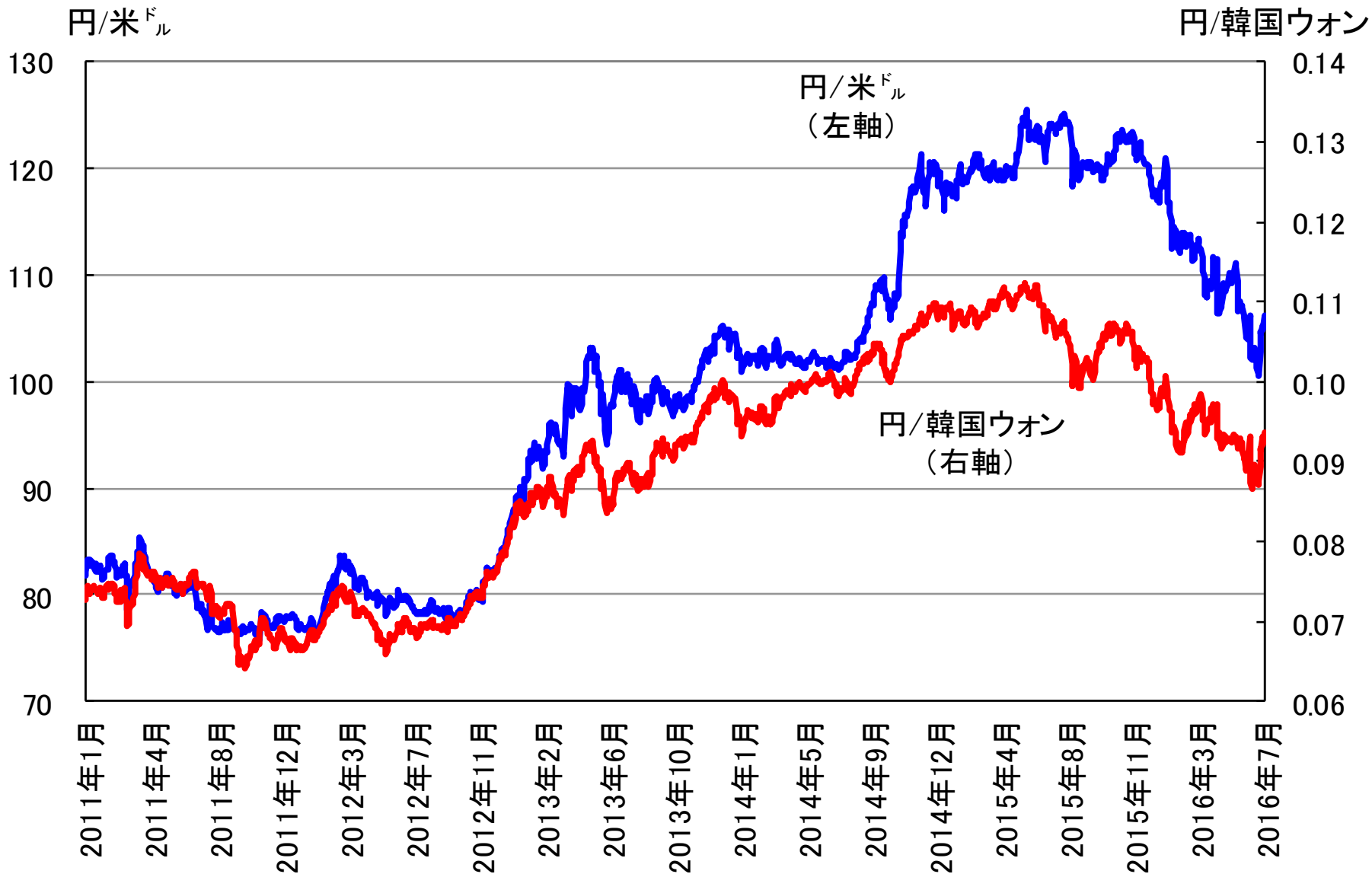


原料 主原料価格



為替レート推移(対米ドル、対韓国ウォン)

JFE



生産・出荷の見通し

■ 単体粗鋼/出荷 (万ト)

	2015 年度 (実績)	2016年度上期		
		4-6月 (実績)	7-9月 (見通し)	計 (見通し)
粗鋼生産	2,736	694	700程度	1,400程度
鋼材出荷	2,539	626	670程度	1,300程度

年間
2,800
強

平均単価(千円/ト)	66.8	58.5	58程度	58程度
為替レート(円/ドル)	120.6	111.1	104程度	108程度

■ 連結粗鋼 (万ト)

粗鋼生産	2,975	752	760程度	1,520程度
------	-------	-----	-------	---------

2016年度業績見通し

JFE

単位: 億円

JFEスチール (連結)	2015年度			2016年度				年度差異 2015 → 2016
	上期	下期	(実績)	4-6月	上期	下期	(見通し)	
	(実績)	(実績)		(実績)	(見通し)	(見通し)		
売上高	12,460	11,991	24,451	5,284	11,000	-	-	-
経常利益	386	▲108	278	▲203	▲330	530	200	▲78
ROS	3.1%	-0.9%	1.1%	-3.8%	-3.0%	-	-	-

2016年4-6月⇒7-9月 連結経常利益 +76億円内訳



単位: 億円

JFEスチール	2016年度(見通し)			差異 4-6月→ 7-9月
	4-6月	7-9月	上期	
経常利益	▲ 203	▲ 127	▲ 330	+ 76

- コスト削減 + 10
- 数量・構成 + 0
- 販価・原料 ▲ 40
- 棚卸資産評価差等 + 350
- その他 ▲ 244

合計 + 76

2015年度下期⇒2016年度上期連結経常利益

▲222億円内訳



単位:億円

JFEスチール	2015年度下期 実績	2016年度上期 見通し	差異 2015下→2016上
経常利益	▲ 108	▲ 330	▲ 222

- コスト削減 + 70
- 数量・構成 + 10
- 販価・原料 ▲ 100
- 棚卸資産評価差等 ▲ 140
- その他 ▲ 62

合計 ▲ 222

2016年度上期⇒下期連結経常利益

+860億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	2016年度見通し			差異 2016上→下
	上期	下期	年間	
経常利益	▲ 330	530	200	+ 860

■ コスト削減	+	70
■ 数量・構成	+	40
■ 販価・原料	+	150
■ 棚卸資産評価差等	+	460
■ その他	+	140
合計	+	860

2016年度 連結経常利益 対前年 ▲78億円内訳



単位: 億円

JFEスチール	15年度 実績	16年度 見通し	年度差異 15→16
経常利益	278	200	▲ 78

■ コスト削減 + 300

■ 数量・構成 ▲ 50



品種構成差等

■ 販価・原料 ▲ 400

■ 棚卸資産評価差等 + 230

■ その他 ▲ 158



為替円高影響(フロー差)等

合計



78

第5次中期経営計画の取り組み

メキシコでのNucor社との自動車鋼板合併事業

(2016年6月9日発表)

米国最大の鉄鋼メーカーであるNucor社との間で、メキシコで自動車用鋼板の製造および販売を行う合併会社を設立することに合意。

⇒さらなる成長が見込まれるメキシコの自動車向け高級鋼需要を捕捉

メキシコの自動車生産能力の
80%が中央部に集中

建設予定地
(バヒオ地区)

メキシコシティ

多くの日系・欧米系
自動車メーカー工場が立地

【新会社の概要】

新会社	NUCOR-JFE STEEL MEXICO
出資比率	JFE スチール50% Nucor Corporation 50%
製造品種	自動車用亜鉛鍍金鋼板
生産能力	約40万トン／年
建設費	約270百万米ドル
営業生産開始	2019年

◆NAFTA地域は世界第2位の自動車マーケットであり、

日本の自動車メーカーにとっては 海外最大の生産地域である。

◆メキシコでは多くの自動車メーカーが能力増強を計画しており、国内の自動車生産台数は2015年の300万台強から2020年には500万台程度へと、成長が期待されている。



製鉄所基幹システムの全面刷新

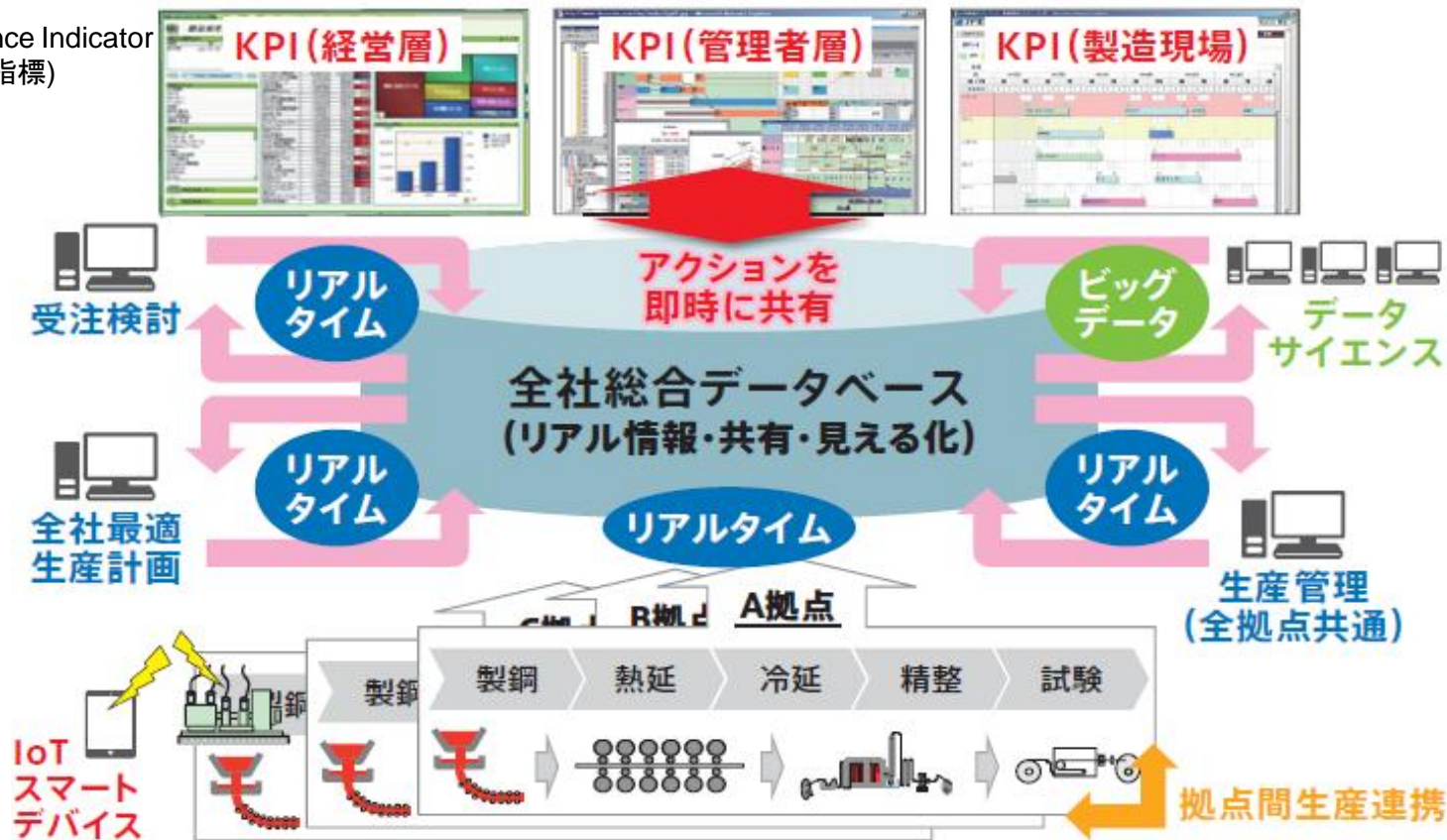
～業務プロセスの全社統一化によるワークスタイルの改革～

(2016年6月7日発表)

JFE

現状、製鉄所毎で保有している製造に関わる業務全般のシステムについて、業務プロセスを全社統一化するため、データベースの一元化を通じて仮想的な1つの製鉄所を構築。

KPI: Key Performance Indicator
(重要業績管理指標)



リアルタイムデータを利用した全社最適生産の実現や、ビッグデータの活用を通じて

- ◆製造技術の向上・所間での展開、品質・設備の安定化の推進など、さらなる競争力の向上へ
- ◆製造現場でのノウハウやナレッジを取り込み、人材育成・技能伝承のさらなる推進へ



JFEエンジニアリング 2016年度 業績見通し



JFEエンジニアリング 2016年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2015年度実績		2016年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
受注高	1,972	5,094	2,200		+228	
売上高	1,535	3,975	1,800		+265	
経常利益	▲0	200	55	250	+55	+50

【主な増減要因】

(15年度上期 対 16年度上期)

受注高 +228 主として環境エネルギー分野の増加

売上高 +265 受注拡大に伴う増加

経常利益 +55 売上高増に伴う増加



JFE

JFEエンジニアリング 受注内容

JFEエンジニアリング

(単位：億円)

分野	2015年度 上期実績	2016年度 上期見通し	増減	2016年度第1四半期の主な受注内容
環境 エネルギー	1,420	1,600	180	前橋市六供清掃工場改造延命化 バイオマス発電設備 1件 太陽光発電所 全国 3ヶ所
鋼構造 産業機械 他	552	600	48	四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区道路(霞4号幹線)橋梁 中央自動車道富士吉田北スマートインターチェンジランプ橋 ふ頭向け 輸送設備 船舶用バラスト水管理システム(商品名:バラストエース) 6隻分
合計	1,972	2,200	228	

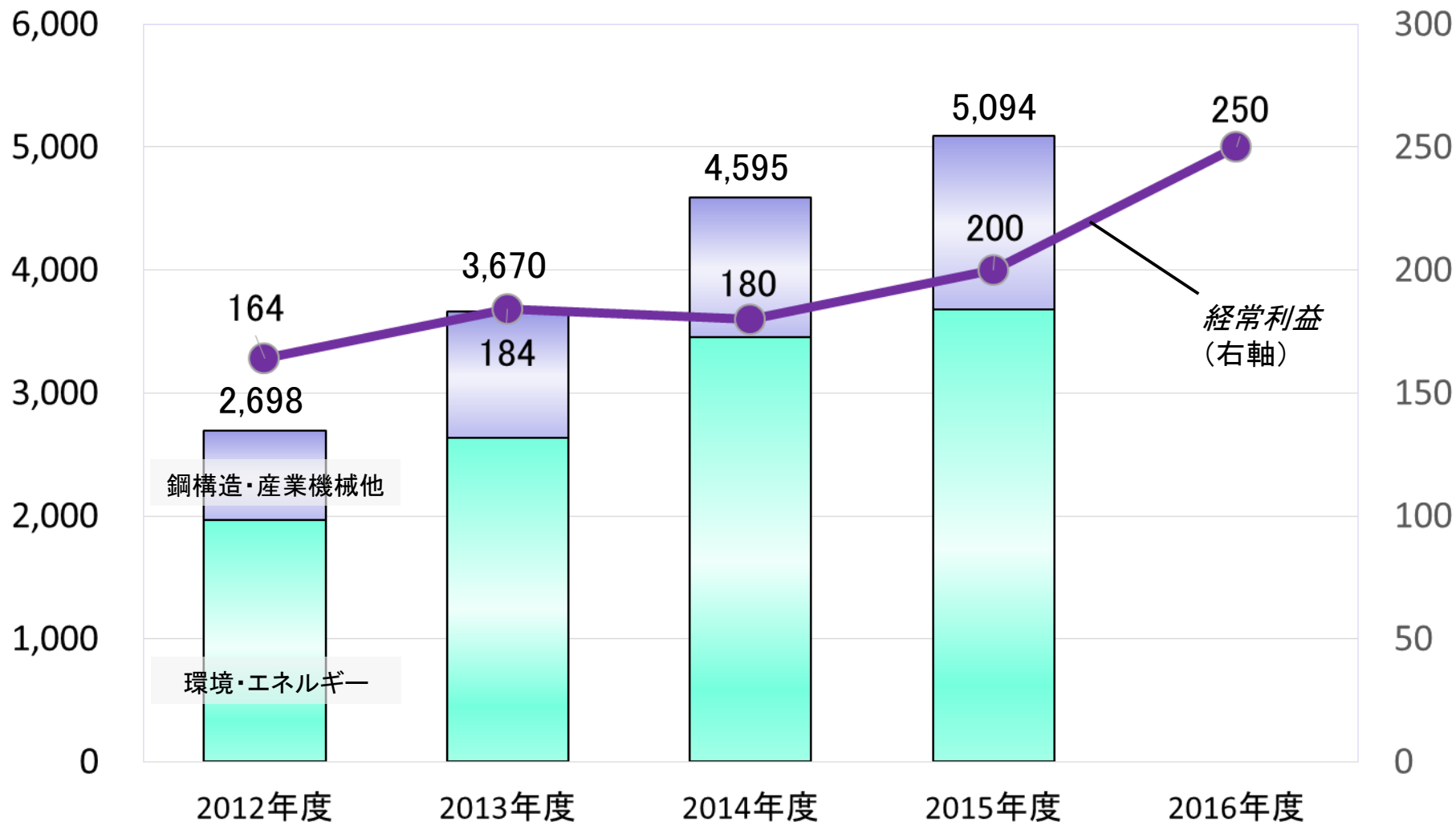


JFE

JFEエンジニアリング 受注金額・経常利益の推移

[受注金額(億円)]

[経常利益(億円)]



経常利益
(右軸)

鋼構造・産業機械他

環境・エネルギー

(見通し)



事業拡大に向けたJFEハイパーリモート®の活用

JFE

JFEハイパーリモート®の活用

今後、国内において拡大が見込まれる廃棄物処理施設の建設・更新ニーズに対し、JFEハイパーリモート®を活用した受注活動を展開し、事業拡大を図っていく。

JFEハイパーリモート® : 廃棄物処理施設の遠隔操業支援システム

- ・リモートサービスセンターでの集中管理により、運営費を抑制、トラブルを防止・最小化。
- ・電力小売り事業者との連携により、売電収入を最適化。



[ミット]運転コスト低減(約20%)、売電収入の増加(約3%)を実現

【対象施設数の推移】



今後さらに対象を拡大

海外でも導入を計画



リモートサービスセンター(横浜本社内)



JFE商事 2016年度 業績見通し



JFE商事 2016年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2015年度実績		2016年度見通し		増減	増減
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
売上高	9,145	17,564	7,800		▲1,345	
経常利益	98	157	75	200	▲23	+43

【経常利益の主な増減要因】

(15年度上期実績vs16年度上期見通し)

- ・主として鋼材価格の下落や為替影響により減益

(15年度実績vs16年度見通し)

- ・主として鋼材価格の下落や為替による影響があるものの、海外グループ会社(Kelly Pipe等)の収益改善等により増益

JFE商事 セグメント別売上高見通し

JFE

単位：億円		2015年度 上期実績		2016年度 上期見通し		増減	
国内		4,623		4,214		▲409	
海外	輸出	2,210	3,675	1,826	2,916	▲384	▲759
	海外事業	1,465		1,090		▲375	
その他(原材料・資機材・調整額他)		847		670		▲177	
合計		9,145		7,800		▲1,345	



JFEホールディングス 2016年度 業績見通し

2016年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2015年度実績		2016年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
売上高	17,132	34,317	15,300		▲1,832	
営業利益	494	906	▲50		▲544	
営業外損益	▲10	▲263	▲150		▲140	
経常利益	483	642	▲200	650	▲683	8
特別損益	-	100	-		-	
税前利益	483	743	▲200		▲683	
税・非支配株主損益	▲184	▲406	20		204	
親会社株主帰属 当期純利益	299	336	▲180		▲479	
ROS	2.8%	1.9%	▲1.3%		▲4.1%	

一過性要因前経常利益 (JFEホールディングス連結)

(億円)

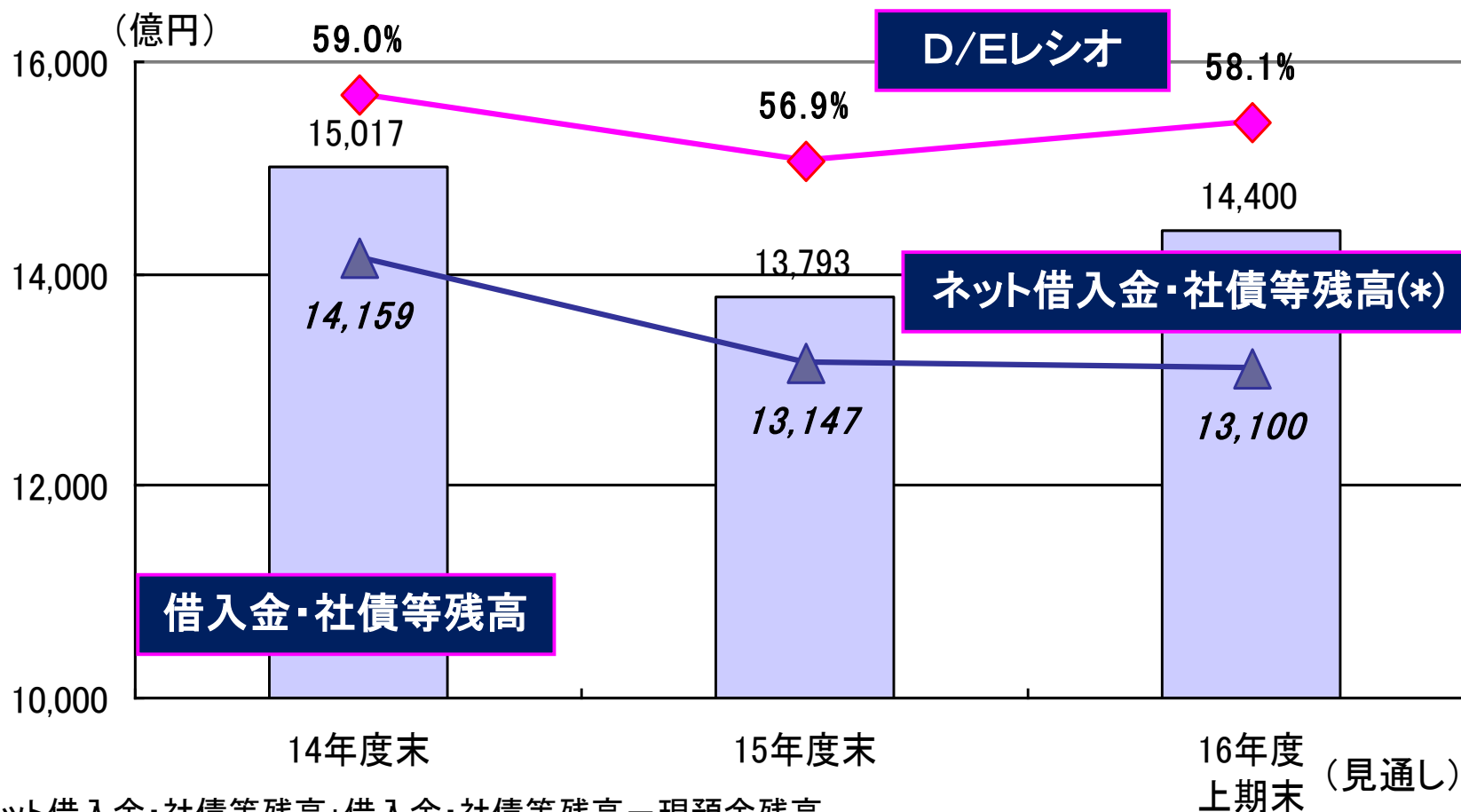
	2015年度 実績	2016年度 概算
売上高	34,317	—
経常利益	642	650
ROS	1.9%	—
一過性要因	▲780	▲460
一過性要因前経常利益	1,400	1,100
ROS	4.1%	—



借入金・社債等残高、D/Eレシオ

JFE

16年度上期末(見通し)の借入金・社債等残高は、劣後特約付ローンによる借入のため一時的に増加も、ネット借入金・社債等残高では減少。年度末に向けては資産圧縮等により更なる残高削減を図る。



*ネット借入金・社債等残高: 借入金・社債等残高 - 現預金残高



劣後特約付ローンによる資金調達について

- 第5次中期経営計画にて策定した国内製造基盤投資、および海外成長投資の取り組みを着実に実行し、収益基盤の強化を推進。
- 本ローンは、格付会社より一定の資本性が認められることで、株式の希薄化なしに実質的な財務体質の強化に寄与。
- **資本効率を維持しつつ、成長戦略と財務健全性を両立。**

<本ローン概要>

借入額	2,000億円	
契約締結日	2016年6月15日	
借入実行日	2016年6月30日	
弁済期日	2076年6月30日 但し、借入実行日より5年または10年経過以降、元本の全部または一部を期限前に弁済することが可能	
資本性評価	ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク	50%
	株式会社格付投資情報センター	30%
	株式会社日本格付研究所	25%

配当について

配当について

- 当期の中間配当については、現下の損益状況を踏まえ、見送る予定であります。
- 期末の配当については、今後、業績動向を見極めつつ検討することとしており、未定であります。

参考資料



主な財務関連データ

(見通し)

年度	'03	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	16 上期
【主要財務指標】(億円、%)											
経常利益	2,183	5,029	4,005	692	1,658	529	522	1,736	2,310	642	▲200
ROS ※1	8.8%	14.2%	10.2%	2.4%	5.2%	1.7%	1.6%	4.7%	6.0%	1.9%	▲1.3%
ROE ※2	15.9%	17.5%	13.7%	3.3%	4.1%	-2.6%	2.7%	6.3%	7.7%	1.8%	▲2.0%
ROA ※3	6.5%	13.0%	10.0%	2.2%	4.6%	1.7%	1.6%	4.5%	5.5%	1.7%	▲0.3%
借入金・社債等残高 (期末)	18,374	12,819	17,687	14,684	14,964	15,936	15,963	15,340	15,017	13,793	14,400
D/Eレシオ※4	246.2%	61.4%	98.9%	75.5%	76.5%	83.5%	76.9%	67.9%	59.0%	56.9%	58.1%
【1株当たり情報】(円/株、%)											
親会社株主に帰属する 当期純利益	185.8	450.5	355.6	86.3	110.7	-68.7	71.2	177.4	241.6	58.4	▲31.2
配当金	30	120	90	20	35	20	20	40	60	30	-
配当性向	16.1%	26.6%	25.3%	23.2%	31.6%	-	28.1%	22.5%	24.8%	51.4%	-

※1 ROS: 経常利益/売上高 ※2 年間ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本 上期ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益×2/自己資本

※3 年間ROA: (経常利益+支払利息)/総資産、上期ROA: (経常利益+支払利息)×2/総資産

※4 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本

但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債※について、格付機関の評価により資本に算入。

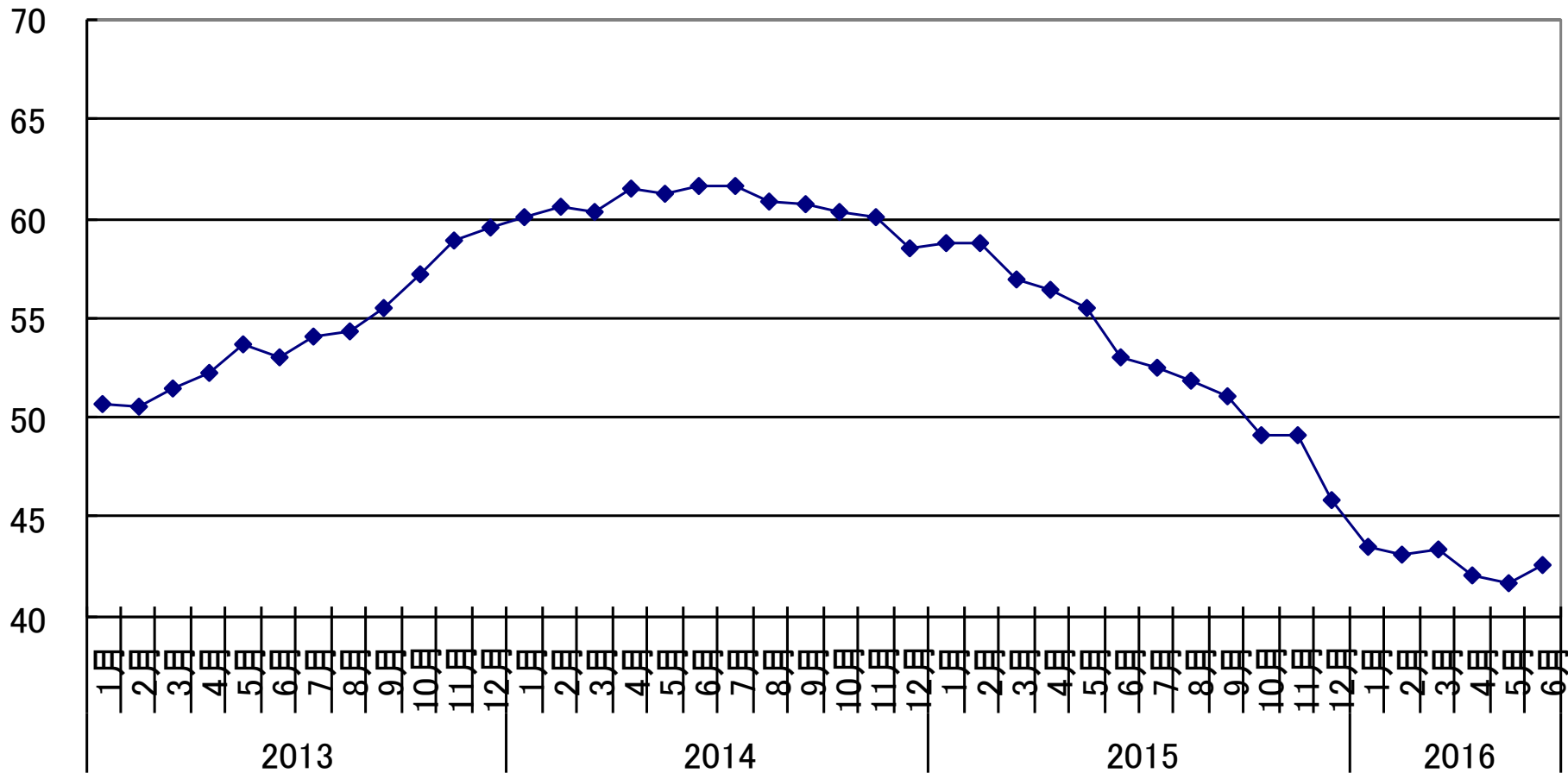
※資本性を併せ持つ負債(劣後特約付ローン)

借入実行日	借入金額 (億円)	資本性評価 (%)	資本算入額 (億円)
平成25年3月18日	3,000	75%	2,250
平成28年6月30日	2,000	25%	500

国内販売環境

輸入鋼材価格

(千円/t)

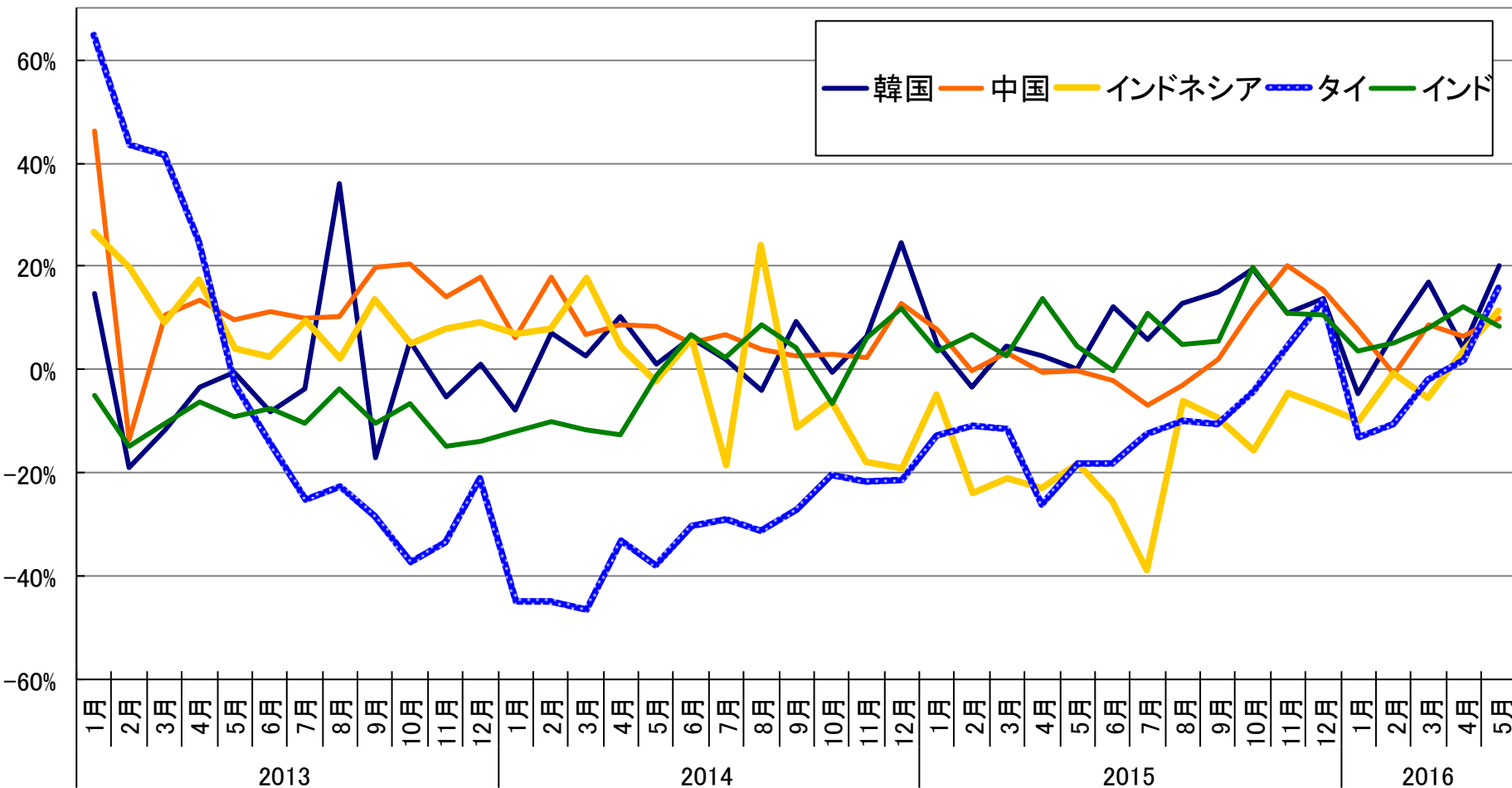




海外販売環境

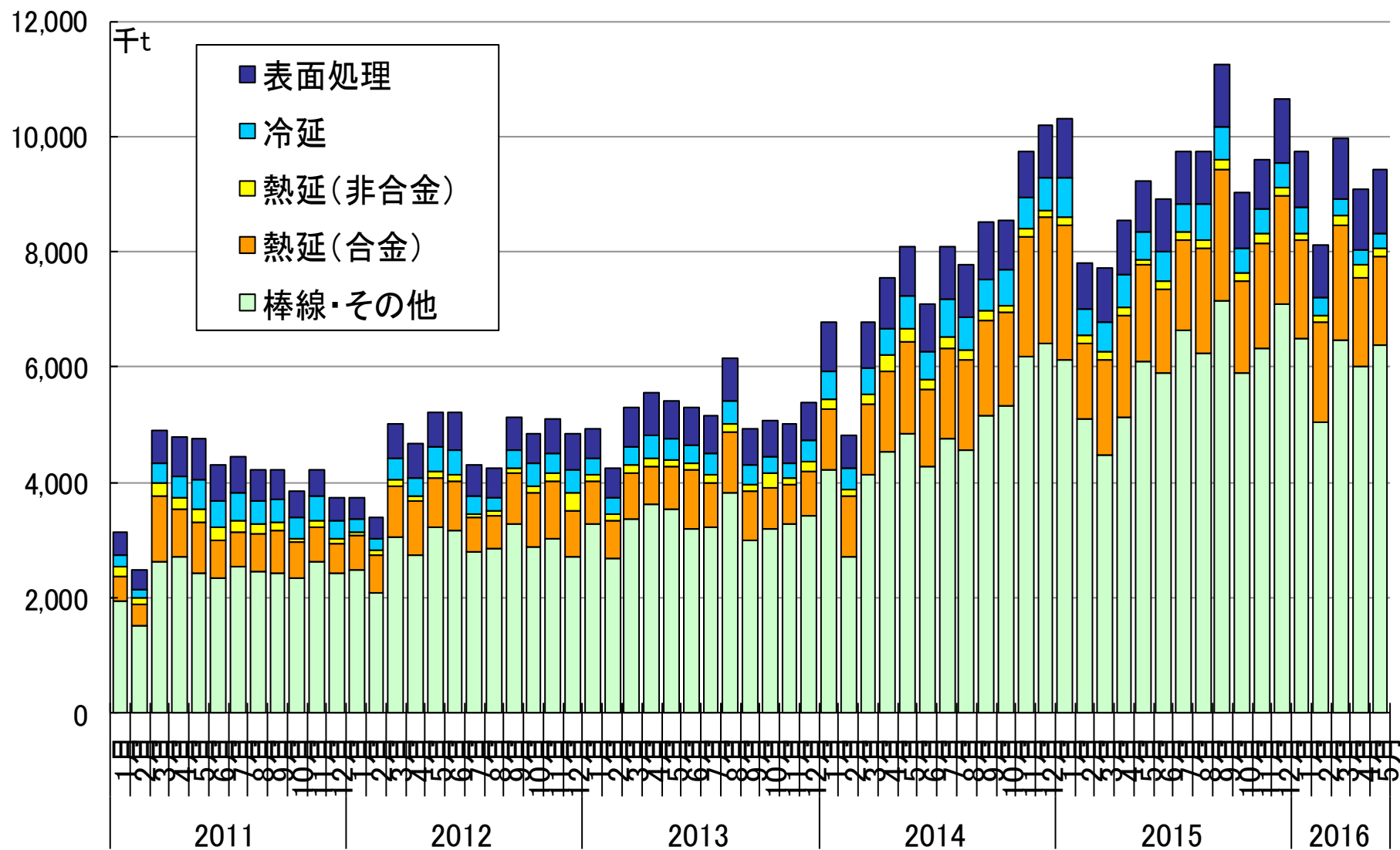
主要国自動車販売

自動車販売台数(対前年同月比)



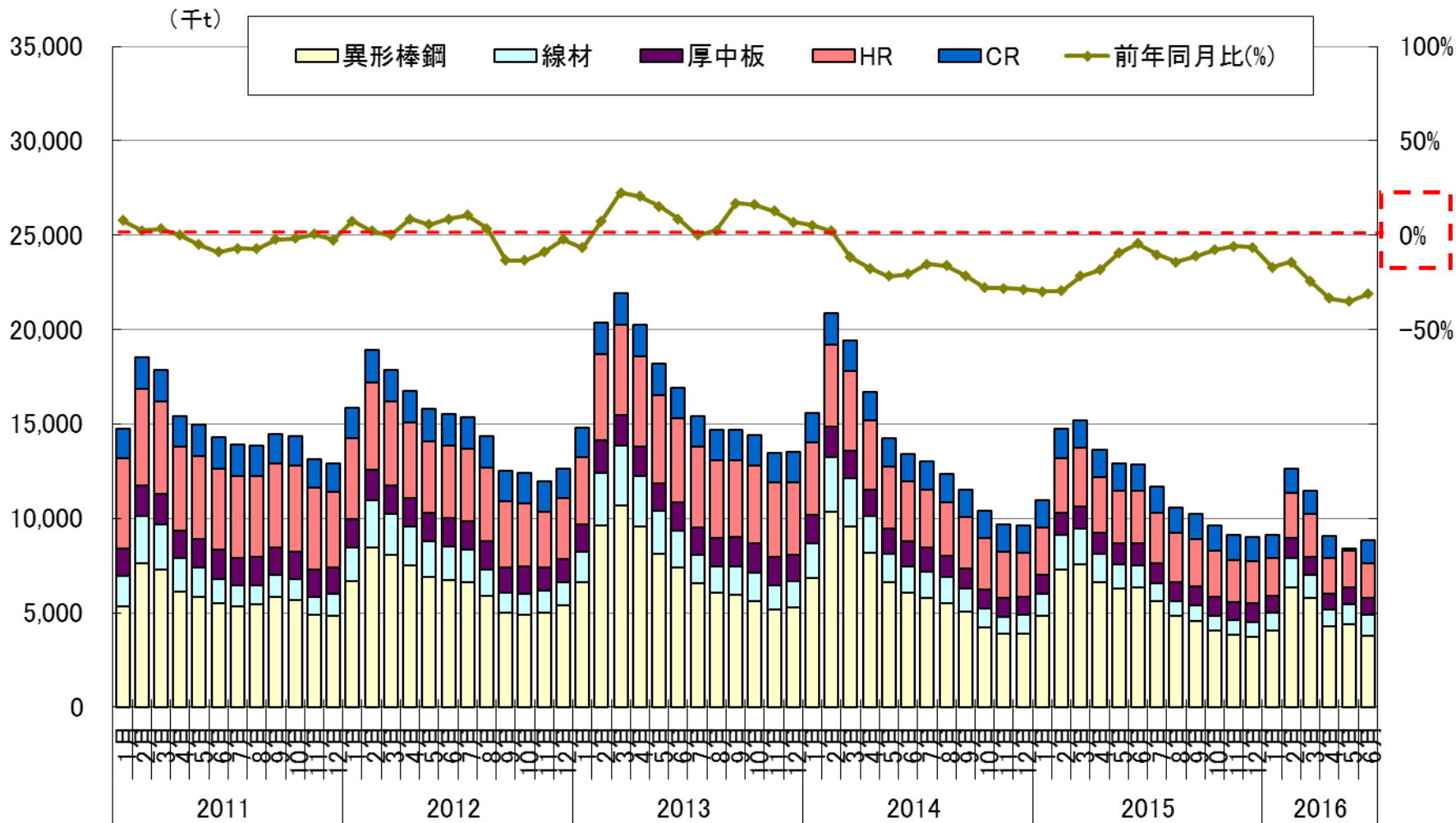
海外販売環境

中国輸出(品種別)



海外販売環境

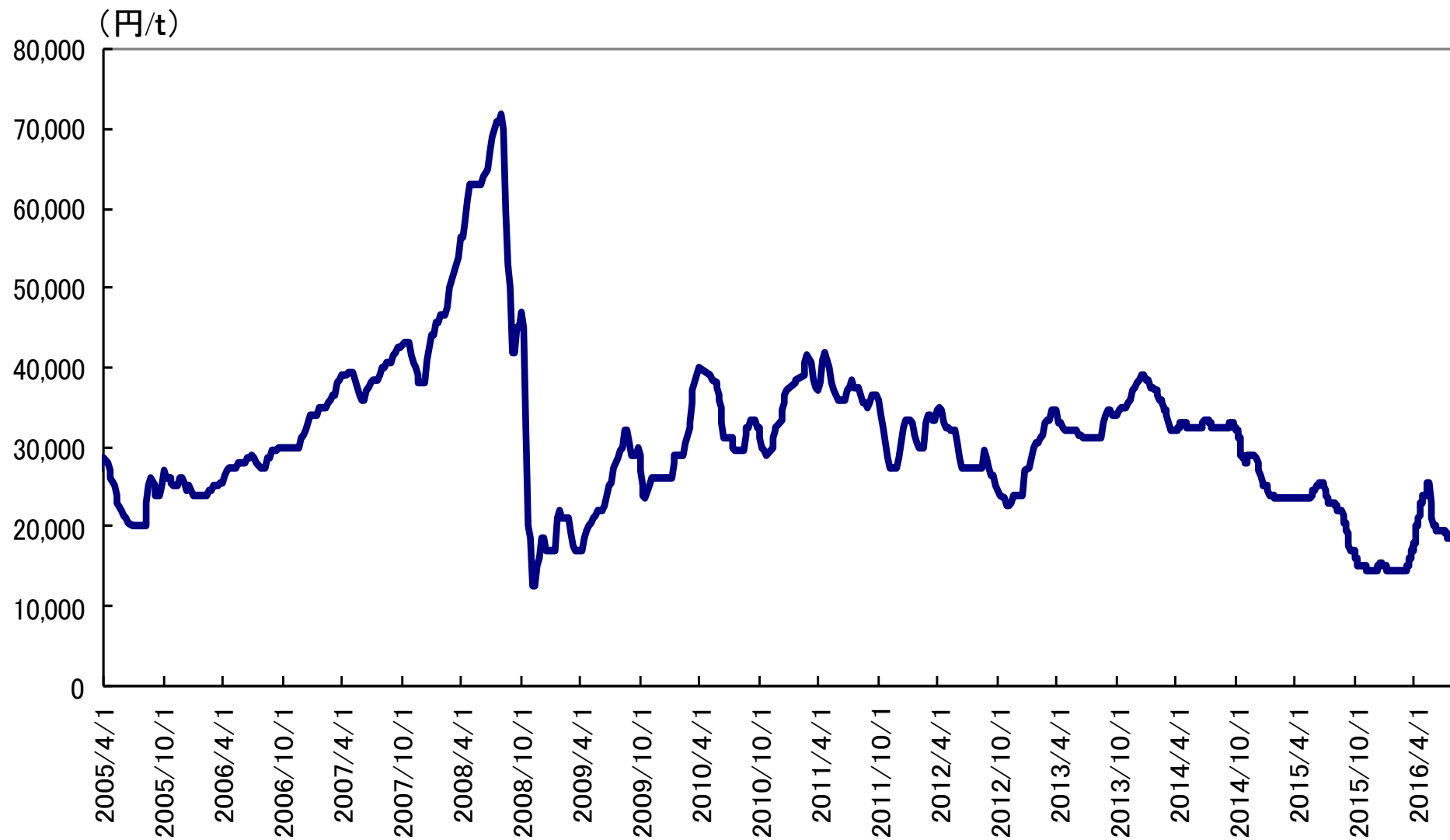
中国品種別在庫数量



原料

スクラップ価格

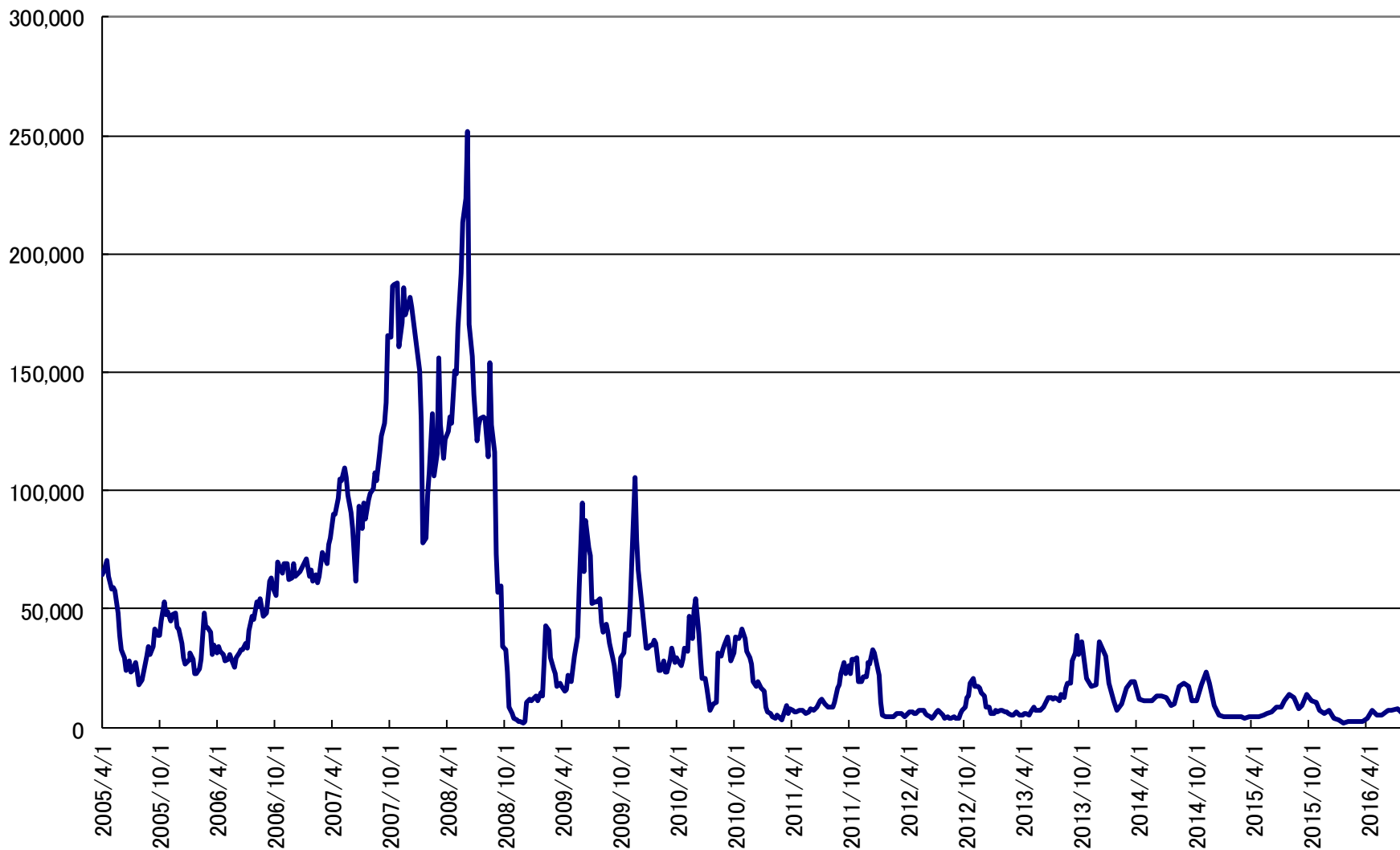
JFE



原料

スポット傭船料

(\$/日)



原料

LNG市況



JFE

(円/t)

120,000

100,000

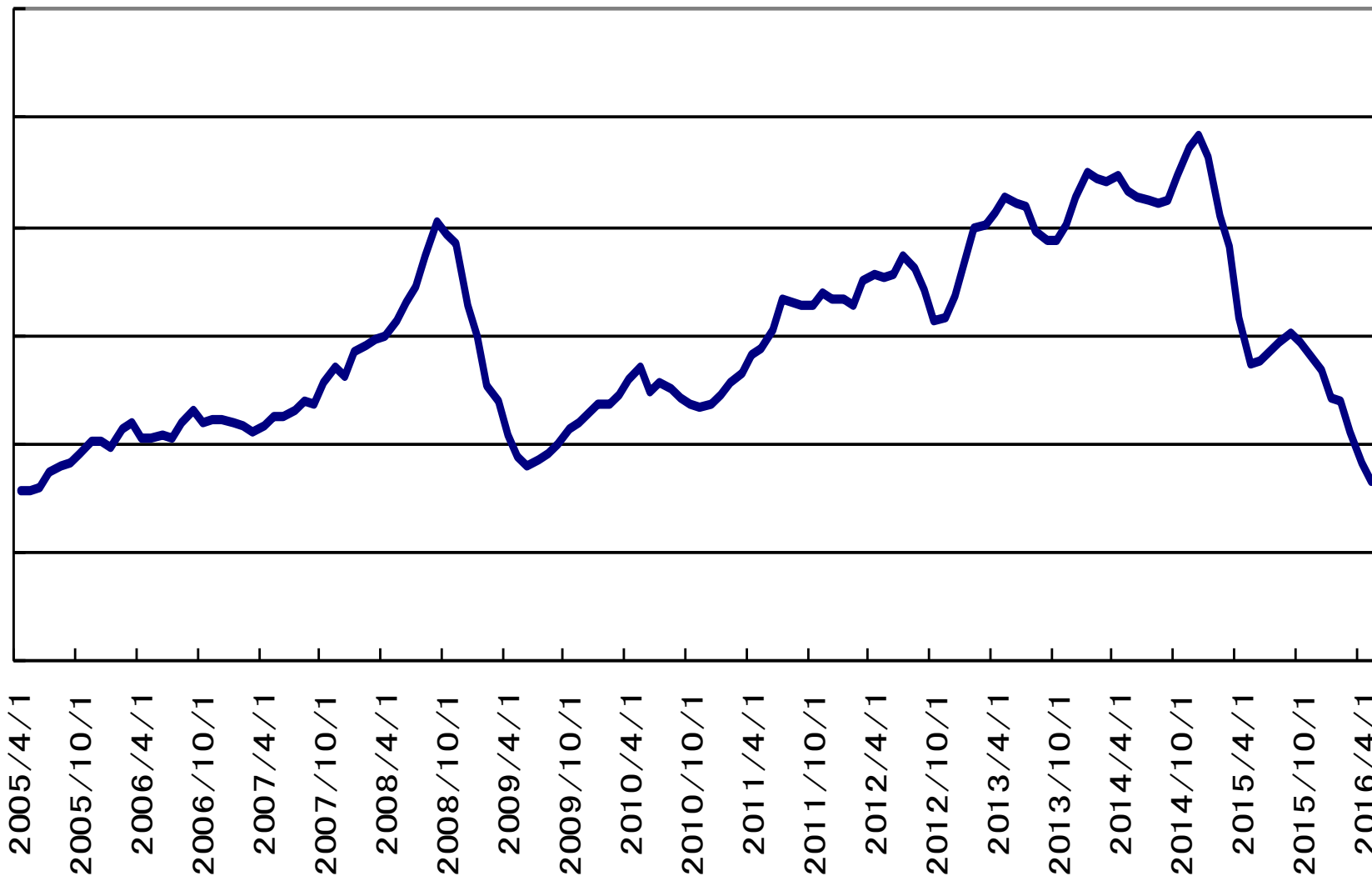
80,000

60,000

40,000

20,000

0





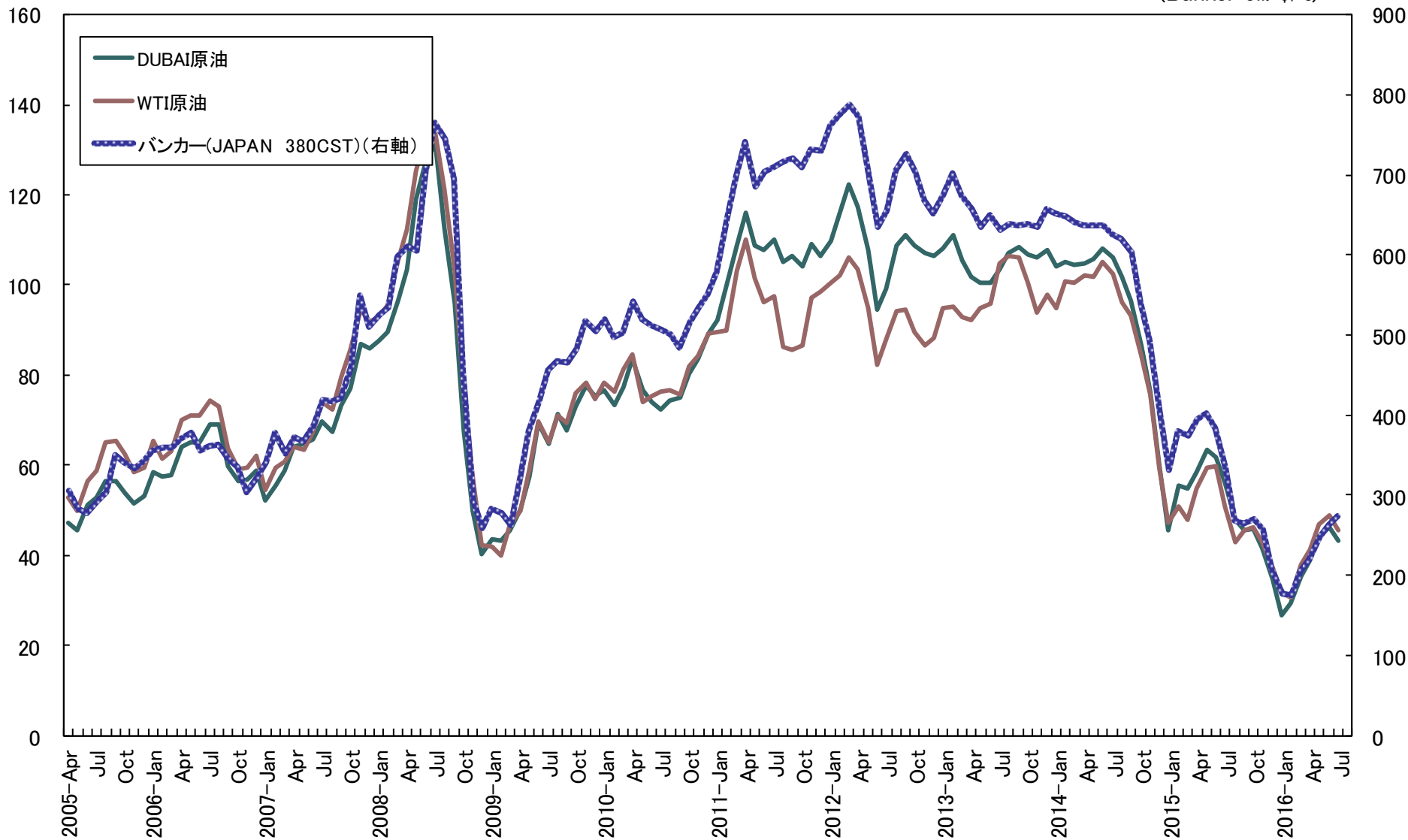
原料

原油・バンカー価格

JFE

(crude oil: \$/bbl)

(Bunker oil: \$/t)

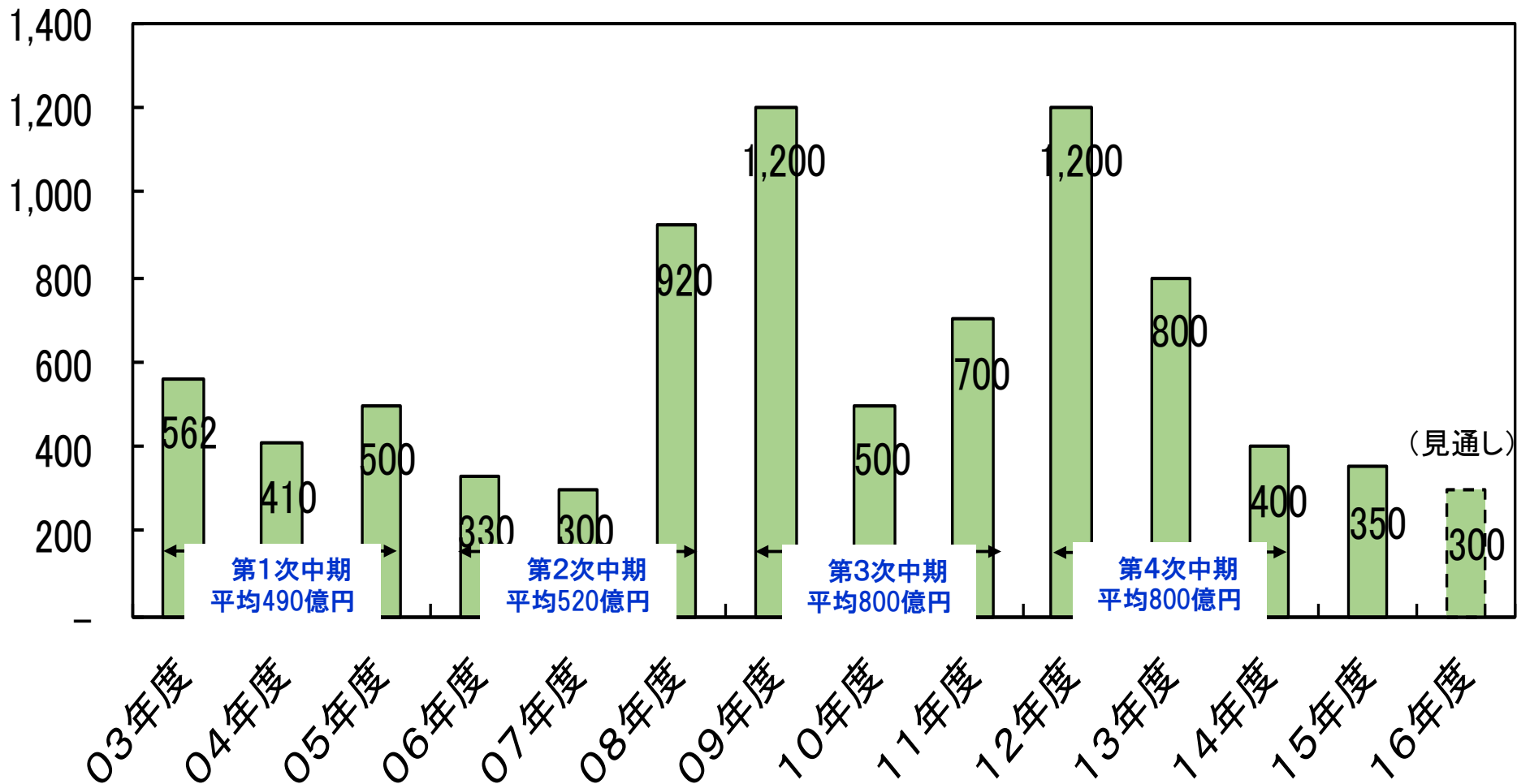


コスト削減推移(鉄鋼事業)

JFE

コスト削減額推移(JFEスチール発足以降)

(億円)





(参考)2015年4-6月⇒2016年4-6月連結経常利益

▲418億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	2015年 4-6月	2015年 7-9月	2015年 10-12月	2016年 1-3月	2016年 4-6月	対前年 同期比
経常利益	215	171	22	▲ 130	▲ 203	▲ 418

- コスト削減 + 80
- 数量・構成 + 30
- 販価・原料 ▲ 180
- 棚卸資産評価差等 ▲ 230
- その他 ▲ 118

合計 ▲ 418

(参考)2015年度上期⇒2016年度上期連結経常利益

▲716億円内訳

単位:億円

JFEスチール	15年度上期 実績	16年度上期 見通し	対前年 同期比
経常利益	386	▲ 330	▲ 716

■ コスト削減	+	130
■ 数量・構成		0
■ 販価・原料	▲	500
■ 棚卸資産評価差等	▲	100
■ その他	▲	246
合計	▲	716



(参考)

エネルギー分野における事業拡大に向けた取り組み

JFE

- 2017年に予定されている都市ガスの小売全面自由化に伴い、今後、**ガス供給設備の効率化やパイプライン整備のニーズの拡大**が予想される。
- 事業規模の約3割を占めるエネルギー・発電事業において、**これまでの豊富な実績や独自の技術開発・提案を通じ、拡大する需要に対応していく。**

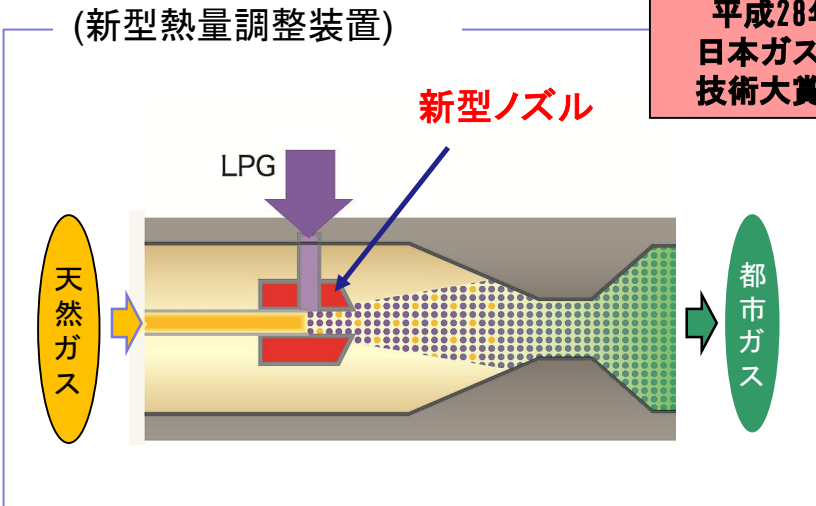
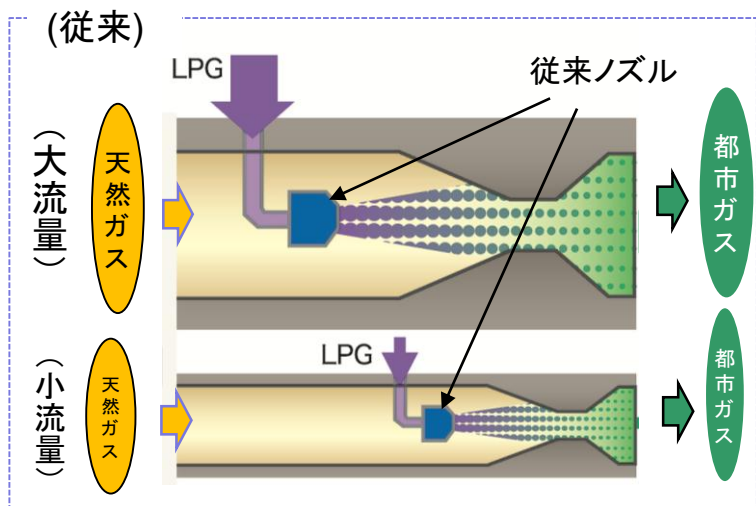
【例】熱量調整^(*)装置 (AtoMS[®]) の開発

従来、2系列必要であった熱量調整装置を**1系列化**
 ⇒ **設置スペース縮小(4割)・運営コスト低減が可能**



今後5年間で、**50億円**の受注(目標)

(*)都市ガス製造には、天然ガスに高カロリーのLPGを混ぜて熱量を調整することが必要



平成28年度
日本ガス協会
技術大賞受賞

建設中の国内大型LNG基地 (石狩湾LNG基地)における採用を含め、4基の採用実績あり。



JFE

Copyright © 2016 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい